

平成 28 年度

事 業 計 画 書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

目 次

- 1 はじめに
- 2 事業運営方針
- 3 事業区分別事業計画

1 はじめに

障がい者の積極的なスポーツ活動を通じて、その心身の健康増進、機能回復を図り、もって障がい者の社会参加を促進する。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定した以降の国内のオリンピック・パラリンピックムーブメントは勢いを増し、東京のみならず全国各地でさまざまな取り組みが行われ、その変化のスピードは目覚ましいものがある。そのなかで、パラリンピックレガシーとして、本県の方向性の基盤を築くため、障がい者が地域においてさまざまなスポーツ体験や活動ができる環境づくりの取り組みを安定・安全に継続する必要がある。

こうした本県の障がい者スポーツの取り組みが、いま全国から注目を浴びており、2016生涯スポーツ体力づくり全国会議の分科会や、日本障がい者スポーツ協会が主催するスポーツインフォ2016において、当協会が長年にわたって取り組んできた地域スポーツの振興が高く評価されている。

今後も、障がい者スポーツ指導者並びに各関係機関と連盟し、障がい者スポーツの基盤づくりにさまざまな角度からアプローチを行い、関係団体と連携を図り、障がい者スポーツの裾野拡大を図る。

2 事業運営方針

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がい者が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備し、併せて、全国障害者スポーツ大会出場の目的を持ち、障がい者の社会参加の促進を図る。

- ①団体スポーツ活動支援事業
- ②福島県障がい者総合体育大会開催
- ③全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業
- ④全国障害者スポーツ大会北海道・東北地区予選出場助成

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者スポーツの振興を図るには、障がい者スポーツの知識のある指導者及びボランティアの養成が必要不可欠である。地域で活動する指導員、専門競技において活動する指導員等、各指導員が得意とする指導環境の整備を行うと共に、障がい者が安心して参加し、それぞれの目的に沿った指導が受けられるように配慮する。

また、指導技術を高めるほかに、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図る。

- ①初級指導者養成講習会開催事業
- ②障がい者スポーツ指導員育成・支援事業

③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、継続してスポーツをする環境を整備する。

①選手指導者組織育成支援事業

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

「ふくしまから世界へ！ふくしま夢アスリート育成支援事業」

2020年東京パラリンピックの開催決定により、障がい者スポーツ振興の盛り上がりを見せるこの機会に、障がい者の積極的な活動を通じた社会参加、自立を促進するため、選手・役員の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、夏季・冬季パラリンピックやデフリンピック、スペシャルオリンピックスなどの世界大会及び各競技日本選手権大会などに出場できる選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図る。

①国際大会等出場者助成事業

②全国スポーツ競技会等出場助成事業

③運動導入教室開催事業

④種目別教室開催事業

⑤各障がい者スポーツ大会支援事業

⑥国際障がい者アスリート・指導者育成事業

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

協会広報紙を発行し広く情報を発信する。また、ホームページ等を活用し、広く一般スポーツ情報の提供等を行う。

①協会広報紙の発行

②障がい者スポーツに関する情報提供

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に参加し情報収集を図ると共に、前例のない障がい等に対応する競技用具の研究開発にあたる。

①各種障がいスポーツに関する情報収集

②日本障がい者スポーツ学会への参加等調査研究

(7) チャレンジド・スポーツ支援

自治体及び企業等が主催する障がい者を含めた事業に対し、障がいをお持ちの方が安

心して参加するために主催者に対し助言・支援を行う。

また、学校教育における障がい者スポーツ関連授業等に対し、講師の派遣を斡旋するなどの協力をし、障がい者スポーツ・福祉への理解を深める。

(8) その他の事業

本県において国内最高峰の陸上競技大会の2017本県開催に向け、競技役員等の資質向上を図る。

① ジャパンパラ陸上競技大会2017開催事業

(9) 協会の運営

障がい者スポーツの中核的組織として、公益財団法人を安定した運営をすることは、本県障がい者スポーツ活動推進の安定につながるものである。会員拡大、協賛企業の確保に努め、円滑な障がい者スポーツの振興を図る。

① 賛助会員拡大にむけた活動

② 協賛企業確保にむけた活動

③ 各種助成金・補助金の獲得

3 事業区分別事業計画

[公益事業] (1)障がい者スポーツの大会の開催及び奨励

事業名	団体スポーツ活動支援事業	予算額	450 千円
		前年度予算額	450 千円
目的	県内の障がい者団体等が、地域において主体的に開催する社会参加と自立、日常生活の充実を促すスポーツをとおして交流が深まる事業について助成する。		
内容	<p><u>事業概要</u></p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与している、障がい者を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成する。</p> <p><u>事業目的</u></p> <p>本県在住の障がい者が、地域においてスポーツに親しむ活動に対し支援する。</p> <p><u>事業実施主体</u></p> <p>県内に所在する障がい者スポーツに関する事業に取り組む団体。</p> <p><u>対象事業</u></p> <p>ア 県内在住の障がい者団体で、地域においてスポーツをとおして社会参加と復帰を図るもの。</p> <p>イ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会が、地域において、障がい者を対象にスポーツ教室等を実施するもの。</p> <p>ウ 当協会の県大会等共催事業等他の助成事業と重複しないもの。</p> <p><u>提出書類</u></p> <p>開催の1ヶ月前までに、申請書、実施要綱・要領（案）等、予算書、前年度実績報告など事業の内容がわかるものを添付し提出する。</p> <p><u>助成額</u></p> <p>ア 対象団体に対し、事業数に関わらず1団体につき20,000円以内を助成する。</p> <p>イ 福島県障害者スポーツ指導者協議会支部の事業に対し50,000円以内を助成する。</p>		
	参考	<p>平成27年度実績</p> <p>県内障がい者競技団体、県内障がい者福祉団体等</p> <p>県障がい者スポーツ指導者協議会県北相双支部（県北地区）、県中いわき支部（県中地区・いわき地区）、会津県南支部（会津地区）</p>	

事業名	福島県障がい者総合体育大会の開催	予算額	3,081 千円
		前年度予算額	3,035 千円
目的	<p>障がい者が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は、第16回全国障害者スポーツ大会（岩手県開催）の個人競技の予選を兼ねるものとする。</p> <p>ただし、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>		
内容	大会概要		
	期日：平成28年5月15日（日）、22日（日）福島市、本宮市		
	競技種目・会場：13競技・会場は下記のとおり		
	陸上競技	身体・知的・精神	とうほう・みんなのスタジアム
	フライングディスク競技	身体・知的・精神	あづま陸上補助競技場
	卓球競技	身体・知的・精神	福島市西部体育館
	サウンドテーブルテニス競技	身体	あづま総合体育館体育室
	アーチェリー競技	身体	あづま運動公園第2多目的運動広場
	サッカー競技	知的	十六沼公園サッカー場
	バレーボール競技	身体・精神	福島市東部体育館
	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール
	ソフトボール	知的	十六沼公園スポーツ広場
	グラウンドソフトボール競技	身体	あづま運動公園軟式野球場
	ボッチャ競技	身体	あづま総合体育館サブアリーナ
バスケットボール競技	知的	福島県立福島東高等学校体育館	
車椅子バスケットボール競技	身体	福島大学附属中学校体育館	
<p>「全国障害者スポーツ大会 希望郷いわて大会」 選手選考会議</p> <p>主催：福島県 期日：平成28年6月第1週、福島市内において実施予定</p>			
参考	<p>※団体競技の選手選考会については、今大会ブロック予選はリハーサル大会を兼ねるため1月末日締め切りとなり、各団体の選手選考は終了した。なお、別途各競技団体による選手選考基準・選考会によって選考。</p>		

事業名	全国障害者スポーツ大会北海道東北地区予選開催事業（希望郷いわて大会）	予算額	- 円
		前年度予算額	2,503 千円
目的	希望郷いわて大会東北北海道地区における団体競技の予選（東北・北海道持ち周りの大会）。		
内容	該当なし		
参考			

事業名	全国障害者スポーツ大会福島県選手団 派遣事業（希望郷いわて大会）	予算額	8,109 千円
		前年度予算額	8,124 千円
目的	<p>福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て本県代表選手について派遣する。</p> <p>また、北海道東北地区予選を優勝した団体競技について（団体競技の場合は優勝後、県補正予算で対応）本戦へ派遣する。</p>		
内容	<p>派遣期間 平成 28 年 10 月 20 日（木）結団式 21 日（金）公式練習 22 日（土）開会式 23 日（日）2 日目 24 日（月）閉会式 25 日（火）帰県（解団式）</p> <p>派遣人数 選手 43 名（予定）、役員 28 名（予定）</p> <p>大会規模 参加選手 約 3, 500 名（想定） 役員 約 2, 000 名</p> <p>個人競技 6 競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知）（サ ウンドテーブルテニス（身））を含む、フライングディスク（身・知）、 ボウリング（知）</p> <p>団体競技 7 競技 バスケットボール（知）、車椅子バスケットボール（身）、ソフトボール（知）、 グラウンドソフトボール（身）、バレーボール（身・知・精）、サッカー（知）、 フットベースボール（知）</p> <p>オープン競技 4 競技 ビリヤード、卓球バレー、ゲートボール、ペタンク（身・知・精）</p>		
参考			

事業名	全国障害者スポーツ大会 希望郷いわて大会 北海道東北地区予選会出場助成事業	予算額	800 千円
		前年度予算額	1,000 千円
目的	全国障害者スポーツ大会希望郷いわて大会北海道東北地区予選会に福島県選抜として出場する団体に対し、予算の範囲内で交通費、宿泊費、参加費を助成する。		
内容	<p>対象競技団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車椅子バスケットボール（男女混合） ②バスケットボール競技（男子、女子） ③サッカー競技（男女混合） ④グランドソフトボール競技（男女混合） ⑤ソフトボール競技（男女混合） ⑥聴覚障がいバレーボール競技（男子、女子） ⑦精神障がいバレーボール競技 <p>※出場しない競技分の予算残については、出場した競技の内、概算払いの 8 万円を超えた団体で、かかった経費を予算の範囲内で按分し助成する。</p>		
参考	<p>[出場経歴]（全国障害者スポーツ大会）</p> <ul style="list-style-type: none"> 車椅子バスケットボール（なし） バスケットボール競技(第 1 回宮城大会) サッカー競技（なし） グランドソフトボール競技（第 9 回新潟大会） ソフトボール競技（なし） 聴覚障がいバレーボール競技（第 11 回山口大会） 精神障がいバレーボール競技（第 1 回宮城大会公開競技） 		

[公益事業] (2)障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	初級指導者養成講習会開催事業	予算額	380千円
		前年度予算額	380千円
目的	<p>県として障がい者スポーツ指導者を養成し、県内の各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的とし、福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会を実施する。</p>		
内容	<p>平成28年度福島県障害者スポーツ指導者養成講習会</p> <p><u>講習会概要</u></p> <p>共催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会（予定） 後援：（公財）福島県体育協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会 募集対象：本県に住所を置く、平成28年4月1日満18歳以上の方で、障がい者スポーツに理解と熱意を有し、資格取得後は、障害者スポーツ指導者として活動できる方。</p> <p>実施日：平成28年7月16日（土）～7月18日（月） 会場：福島県あづま総合運動公園内 体育館及び研修室 募集人員：50名 募集期間：平成28年5月2日（月）～5月31日（火）まで</p> <p>障がい者スポーツ指導者の役割</p> <p>この講習会において、全課程を修了し、公認指導者登録を取得した方は、公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会（以下「スポーツ協会」という。）の附属機関である福島県障がい者スポーツ指導者協議会（以下「指導者協議会」という。）に登録されます。資格取得後は、自ら障がい者スポーツの振興に努めるとともに、障がい者スポーツの振興を図るため、各種スポーツ活動に協力し、本県の障がい者スポーツの普及と振興にあたります。初級指導者は、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを伝え、スポーツをとおしての社会復帰・参加・自立への手助けをする。</p> <p>また、障がいの基本内容を理解し、障がいをお持ちの方へのスポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践にあたっては、健康や安全管理を重視した指導ができるよう、指導者としての活躍が期待できる方を育成する。</p>		
	参考	<p>※福島県スポーツ推進計画で、障がい者スポーツ指導員の増員を提唱している。また、教育関係者が受講しやすいように教育委員会へ共催としている。</p>	

事業名	障がい者スポーツ指導員育成支援事業	予算額	424 千円
		前年度予算額	900 千円
目的	<p>上級資格取得、専門資格取得講習会に派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる人材の育成を促し、安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。</p>		
内容	<p>① 中級指導者養成 2名 平成 29 年 1 月～3 月 岩手県（予定）</p> <p>② 障がい者スポーツトレーナー養成 推薦対象者なし</p> <p>③ 障がい者スポーツトレーナー技術講習会 3名 未定 神奈川県（予定）</p> <p>④ 障がい者スポーツ医養成 1名 平成 28 年度 東京都（予定）</p> <p>⑤ 全国障害者スポーツ大会、専門競技クラス分委員養成 1名 平成 28 年度 愛媛県（予定） 協会事務局員 1 名派遣（予定）</p>		
参考			

事業名	福島県障がい者スポーツ指導者協議会 運営事業	予算額	301 千円
		前年度予算額	300 千円
目的	当協会の内部組織である「福島県障がい者スポーツ指導者協議会（専門部による指導者への指導、支部（3支部7地区）による地域スポーツの振興、競技部による専門競技団体との連携」専門指導力及び当事者の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するために、福島県障がい者スポーツ指導者協議会の運営を支援する。		
内容	<p>①福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会 年一回 開催時期 平成28年4月23日（土）郡山市予定</p> <p>②役員会の開催 2か月に一度の役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>③各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度、各部会の開催</p> <p>④地区スポーツ教室・大会開催・講習会の開催支援 地元自治体等と連携し、障がい者が地域においてスポーツに親しむ環境づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県北相双支部（18回） 県北地区・・・教室：二本松市岳体育館、あづま総合体育館等（12回） 大会：チャレンジカップ2016（1回） 相双地区・・・教室：相双地区管内体育及び福祉施設等（6回） ・ 県中いわき支部（24回） 県中地区・・・教室：郡山市障がい者福祉センター等（12回） 大会：県中エンジョイスportsフェスティバル（1回） いわき地区・・・教室：いわきサンアビリティーズ等（12回） 大会：いわきSportsフェスティバル（1回） ・ 会津県南支部（24回） 会津地区・・・教室：会津若松ふれあい体育館等（12回） 大会：会津障がい者Sports大会（1回） 県南地区・・・教室：福島県勤労障がい者体育館等 （県南地区11回、南会津1回） <p>*地区スポーツ教室の開催については、福島県障害者Sports指導者協議会として、障がい者のSports環境に関する事業助成金を申請中（4月以降決定）</p>		
参考			

[公益事業] (3)障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	選手指導者組織育成支援事業	予算額	50 千円
		前年度予算額	100 千円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。</p> <p>また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>①選手指導者組織育成支援事業(50 千円)</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図る。</p>		
参考	<p>過去の支援実績</p> <ul style="list-style-type: none"> *平成 8 年 知的障害者バスケットボール普及 *平成 8 年 フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 *平成 9 年 冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） *平成 12 年 福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 *平成 16 年 車椅子バスケットボール日本代表育成 *平成 21 年 福島県障がい者陸上競技協会再編支援 *平成 23 年～福島県障がい者アーチェリークラブ支援 *平成 25 年～水泳選手育成支援 		

[公益事業] (4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	各種助成事業	予算額	750 千円
		前年度予算額	1,050 千円
目的	<p>パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈する。</p> <p>競技力向上を目指す選手・役員に対して、全国大会等に出場する選手に対して助成をし、財政的支援をおこなう。</p>		
内容	<p>①国際大会等出場助成事業（250 千円）</p> <p>国際大会に出場する選手に対して、激励金として下記内容を支給する。</p> <p>ア 競技種目ごとに開催されるアジア大会、国内で開催されるIPC公認の国際大会等において、日本代表として出場する本県在住の選手に対して5万円以内。</p> <p>*激励金の額についてはその都度調整。</p> <p>イ パラリンピック、デフリンピックなど日本パラリンピック委員会より派遣される本県に住所を置く選手に対して10万円以内。</p> <p>*激励金の額については、その都度調整。平成28年度についても5万円を予定。</p> <p>②全国スポーツ競技会等出場助成事業（500 千円）</p> <p>各競技種目の全国大会及び東北大会に出場する選手（団体競技含む）役員に対し、経費の一部を助成する。ただし、上限は10万円まで</p> <p>*平成28年度は、全国大会一人3,000円、東北大会一人2,000円を予定</p>		
参考			

事業名	運動導入教室開催事業	予算額	682 千円
		前年度予算額	682 千円
目的	<p>2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定の盛り上がりを見せるこの機会に、障がい児には遊びをとおして身体を動かすことの喜びを、在宅障がい者には積極的なスポーツ活動をとおして社会参加・自立・復帰を促進する。また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックへ向けたジュニア（キッズ）選手を発掘するとともに障がい者スポーツの裾野拡大を図る。</p>		
内容	<p>①障がい者が運動を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等について相談・指導を行う。</p> <p>理学療法士 2 名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 整形外科医 1 名（障がい者スポーツ医有資格者） 補装具アドバイザー 1 名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 自動車整備士 1 名（障がい者スポーツ指導員・福祉自動車整備士有資格者） 障がい者スポーツ指導者 2 名（スポーツコーチ、中級等上級資格者）</p> <p>②障がい児などに対し、遊びのなかで、楽しく運動をしながら車椅子の操作や障がい程度に合わせた身体の動かしかたを遊びのなかで獲得していく。</p> <p>③中途障がい（成人になってから障がいを負った方とその家族・介助者）に対し、車椅子操作、義足での歩行、片麻痺の運動指導等の各障がい現況に合わせた指導を行う。</p> <p>④運動導入教室参加者の中から、各個人の身体・障がいに合わせて内容のスポーツ教室への参加を促す。</p> <p>⑤運動能力が高い選手については、さまざまなスポーツ経験をした後に、自らが望む専門競技団体への参加を促進する。</p> <p>⑥キャンプの開催等、屋外や宿泊体験の実施を予定</p>		
参考			

事業名	種目別教室開催事業	予算額	3,512 千円
		前年度予算額	3,600 千円
目的	<p>パラリンピックや全国障害者スポーツ大会（公開競技含）などの種目競技において、選手の育成・強化と普及・拡大を一本化するスポーツ教室を開催し、夏季冬季パラリンピック（2020－2028年）、スペシャルオリンピックス、各競技日本選手権大会などに出場できる選手の競技力を向上するとともに、スポーツを習慣とする愛好者の拡大を図る。</p>		
内容	<p>①障がい者が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を開催する。</p> <p>②障がい者が専門スポーツ競技団体と交流することで、団体への参加を促し、国内・国際大会への出場を目指すなど、それぞれの目標に向かい生きがいをもつことができる。</p> <p>【実施予定種目（予定）】</p> <p>陸上競技（8回） フライングディスク競技（8回） 卓球（8回） サウンドテーブルテニス（4回） アーチェリー（4回） 水泳（4回） ボッチャ（8回） 障がい者ゴルフ（4回） バドミントン（8回） ハンドバイク（4回） サッカー（8回） バスケットボール（8回） 車椅子バスケットボール（8回） グランドソフトボール（4回） 聴覚バレーボール（4回） その他</p> <p>*実施方法は、専門スポーツ競技団体のある種目について実施。各団体。関係者と連携協力し、共同開催とする。</p>		
参考			

事業名	国際障がい者アスリート支援事業	予算額	1,490 千円
		前年度予算額	1,490 千円
目的	<p>国際的に活躍する障がい者アスリート、障がい者スポーツ指導者（コーチ）及びボランティアの増加及び資質向上を図る。特に国際舞台で活躍できる人材の育成を図る。</p>		
内容	<p>各競技の強化選手及び指導者、障がい者スポーツシーン英会話レッスン講習会を開催する。</p> <p>障がい者スポーツに関わる英語（クラス分の受け方、ドーピングの受け方等）を学ぶ。併せて国際舞台で活躍するために必要な教養（オリンピック・パラリンピックの歴史や自分の競技の歴史等ほか）を身につける。世界各国の文化・教育・宗教・習慣を英語で学び、国際的なコミュニケーションができる人材の育成を図る。</p>		
参考			

事業名	各障がい者スポーツ大会支援事業	予算額	850 千円
		前年度予算額	850 千円
目的	<p>各競技のスポーツ教室、練習会等に参加した選手が、練習の成果を発揮するために上位大会を目標とすることで、競技力向上と継続の意欲を高める。</p> <p>また、障がい者スポーツの理解・関心の拡大を図るため、競技活動の広報を強化し、障がい者スポーツの普及・振興と裾野拡大を促進する。</p>		
内容	<p>各障がい者スポーツ大会支援事業</p> <p>県内で開催される各競技種目の大会に対して開催経費の一部を助成する。障がい者スポーツ団体が財政的に苦しいなかで開催している大会を支援することで、県内で競技会に参加できる機会の確保を行う。</p> <p>【対象競技】</p> <p>陸上競技、フライングディスク競技、卓球、サウンドテーブルテニス アーチェリー、水泳、ボッチャ、障がい者ゴルフ、バドミントン クロスカントリー（またはハンドバイク）、サッカー、バスケットボール 車椅子バスケットボール、知的バレーボール、グランドソフトボール 聴覚バレーボール、精神バレーボール など</p>		
参考			

[公益事業] (5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	協会広報紙の発行	予算額	850 千円
		前年度予算額	630 千円
目的	賛助会員に対して、協会広報紙を発行し、情報提供を行う。		
内容	<p>広報紙の発行 (850 千円)</p> <p>年 2 回広報紙を発行する。1 回 3 0 0 0 部発行</p>		
参考			

[公益事業] (6)障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導 及び調査研究	予算額	70 千円
		前年度予算額	200 千円
目的	<p>各種会議、講習会等に参加し、最新の情報を元に、安心安全なスポーツ環境の提供を図る。</p> <p>また、前例のない競技者に対し、補装具・競技用具の専門技術者と協同研究をし、日本障がい者スポーツ学会等で発表することで、重度障がい者スポーツの活路を見いだすことを目的とする。</p>		
内容	<p>①情報収集 (30 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議、講習会等に参加し、最新の情報の入手を図る。 ・福島県障がい者スポーツ振興計画(案)の作成のための情報収集経費及び国内、国際の情報収集のための会議等出席 ・日本障がい者スポーツ協会・指導者協議会協議会 ・東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会 ・その他 必要な会議等 <p>②日本障がい者スポーツ学会参加 (40 千円)</p> <p>日本障がい者スポーツ学会等に参加するための障がい者スポーツ医等が出席する。福島県障害者スポーツ指導者協議会専門部に所属するメディカル・テクニカル担当の指導員が、日本障がい者スポーツ学会等で、共同研究者の協力のもと研究成果を発表する。</p> <p>研究内容：「側湾及び四肢変形症状の選手に対する競技用補装具研究」 「脳性麻痺選手の競技車椅子研究」</p> <p>研究者：福島県障害者スポーツ指導者協議会専門部 メディカル・テクニカル担当</p> <p>共同研究者：川村義肢(株)松田靖史 氏 ほか</p> <p>*学会発表における当事者の許可は承諾済。</p>		
参考			

[公益事業] (7)チャレンジド・スポーツ支援

事業名	チャレンジド・スポーツ支援事業	予算額	504 千円
		前年度予算額	1,000 千円
目的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内容	<p>①東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト</p> <p>ア 個人、団体奨励金 事業対象団体・個人に対し、説明会・報告会を開催し、サポートを受ける側のマナーについて学ぶ機会を設ける。</p> <p>イ チャレンジド・アスリートビジット（学校訪問活動）開催協力 障がい者、児童・生徒らと障がい者スポーツの体験をとおり、障がいに対し理解を深めながら、体験を実施する。 車椅子バスケットボール体験ほか</p> <p>ウ チャレンジド・スポーツアカデミー 実業団、プロチーム、障がい者スポーツクラブ、一般と交流を深めるイベントを開催し、交流を深めながら障がいに対する理解促進を図る。 平成 28 年未定</p> <p>エ チャレンジド・スポーツ育成サポート 施設の改修・競技用具の寄贈など物的な支援について、各団体と連絡調整し、支援内容を決定する。 ジュニアキャンプ（仮称） 期日 平成 28 年 7 月 29 日～31 日 会場 休暇村裏磐梯 ※詳細については 3 月 22 日に打ち合わせ予定</p> <p>②その他 このほかの支援についてはその都度協議して対応する。</p> <p>③支援事業経費の 10% を事務代行手数料とする。</p>		
参考			

[公益事業] (8) その他

事業名	ジャパンパラ陸上競技2017開催事業	予算額	896千円
		前年度予算額	-円
目的	<p>ジャパンパラ陸上競技大会の2017年本県開催に向け、2016大会の視察及び審判等講習会などの実施を通して、競技役員等の資質向上を図る。</p>		
内容	<p>① ジャパンパラ2016 視察派遣費 (304千円) ジャパンパラ陸上競技2017福島大会の開催にあたり、前年度大会の視察を行う。 期日 平成28年6月4日(土)～5日(日) 会場 新潟市デンカビッグスワンスタジアム</p> <p>②2016 北海道東北ブロック障がい者陸上競技選手権大会各部門講習会及び審判講習会 (591千円)</p> <p>北海道東北陸上競技選手権大会(共催事業)において、国際パラリンピック委員会の陸上競技規則に基づいた大会の実施及び審判等講習会を実施する。</p>		
参考			

